



～ ほどがや学び隊 まち歩き会 ～

■ ほどがや学び隊・・・って??

ほどがや学び隊について

きっかけは平成26年秋に開催された区の講座「保土ヶ谷の魅力再発見!ほどがや学び隊」。

保土ヶ谷の...
 魅力を探したり... (音響をみて撮影) パンツ...
 防災を学んだり... (海抜1.5m) 信い...
 野菜を収穫したり...
 最終回には 区長から修了証を授与されました。

受講者の仲が良くなったこと、今後の講座運営の手伝いを区が募集していたことから、「今後も保土ヶ谷を学び、発信していこう!」とOB会を結成しました。

それが
「ほどがや学び隊!」

こんな活動をしています。

月1回のまち歩き

自然 歴史
 建造物
 その他、文化や地区・地形などをテーマに。

食
 地元のことを知るのが楽しい♪
 おいしいものも食べたい♪
 楽しみながら地元の魅力を発見しています。

秋開催の講座で集まった「魅力発見カード」を区のホームページ「ほどがや学び隊」がみつけた魅力スポット」に掲載。

また、講座では一緒に学びながらスタッフとして講座をサポート。

受付 安全確認 調理
 保土ヶ谷産直野菜の鼻だくさんスープ

時に熱い意見を交わしながら...

作:たかえみちこ takaeemichiko.com

■ 今回のトピックス・・・は??

われ等が“ふるさとほどがやの魅力を探る”第3弾!は・・・
 その昔、ほどがや“帷子の峯”と呼ばれていた台地に源を発し、保土ヶ谷区から神奈川区に流れていた「滝の川」の美しく変貌した「滝ノ川あじさいロード」などのスポット巡りです・・・。

■ 次回のトピックス・・・は??

われ等が“ふるさとほどがやの魅力を探る”第4弾!は・・・
 戦前戦中のハマっ子が、遠足や運動会場としていた通称「遊園地」。戦後一時接收されたが、協定が結ばれ、現在に至る「英連邦戦死者墓地」。国籍別の5区が美しく整備され、墓石の一つひとつから歴史の重みを知る“まち歩き”です・・・。



ほどがや学び隊 まち歩き会 ～三ツ沢せせらぎ緑道から滝ノ川あじさいロードへ～

- ルート： 出発地：横浜市営地下鉄三ツ沢下町駅 ① 三ツ沢せせらぎ緑道Ⅰ、② 延命地藏尊、③ ガーデン橋跡、④ 愛染地藏尊、⑤ 三ツ沢せせらぎ緑道Ⅱ、⑥ 豊頭寺、⑦ 三ツ沢公園、⑧ 滝ノ川あじさいロード ⇒バス停 三ツ沢池
- 開催日： 2017年6月20日 ■参加者： 19名 ■所要時間： 2時間

① 三ツ沢せせらぎ緑道Ⅰ

旧反町川跡地に整備された約1.7kmの緑豊かな遊歩道。区役所周辺から三ツ沢公園、豊頭寺市民の森一帯とを結ぶ広域的散策路。まずは「みどりの遊歩道」を歩く。



② 延命地藏尊

江戸時代初期建立の「延命地藏尊」。流行りの悪疫で亡くなった子どもたちの供養・村人の健康等を祈願したお地藏さん。三ツ沢村の時代から「大地蔵」の呼び名で親しまれてきたとのこと。



③ ガーデン橋跡

下水道の普及により河川としての機能を失った旧反町川にあった橋の宝珠柱だけが、今残る「ガーデン橋」跡。「横浜ガーデン」として一般に公開された広大な敷地入口に在ったのが、その名の由来。



⑤ 三ツ沢せせらぎ緑道Ⅱ

横浜新道を渡った「みずとみどりの遊歩道」は、自然がいっぱい。せせらぎが流れ、こども達がザリガニ捕りに夢中。水辺にハンゲショウも咲く。緑濃く、「こども横浜？」の感。



④ 愛染(通称アヅメ)地藏尊

戦後の1945年、滝の川に漂着した江戸時代の石仏。地元染物工場で救い上げ、祀り、その後商店会が譲り受けた。現在では近郊近在から多くの参詣者もある、と案内板に説明文記載。



⑥ 豊頭寺

「せせらぎ緑道」の途中から「門前橋」を渡り、「豊頭寺」へ。北条早雲の家臣 多米(タ)一族の寺としての「本願寺」を、この地に移し「豊頭寺」に改称。江戸中期には300人超の檀林。



⑦ 戦没者慰霊の塔

豊頭寺から続く「豊頭寺市民の森」、さらに続く「三ツ沢公園」の「戦没者慰霊の塔」のある広場へ。横浜大空襲(1945年5月29日)の犠牲者の慰霊と平和への祈りを込めて、1953年に建造。

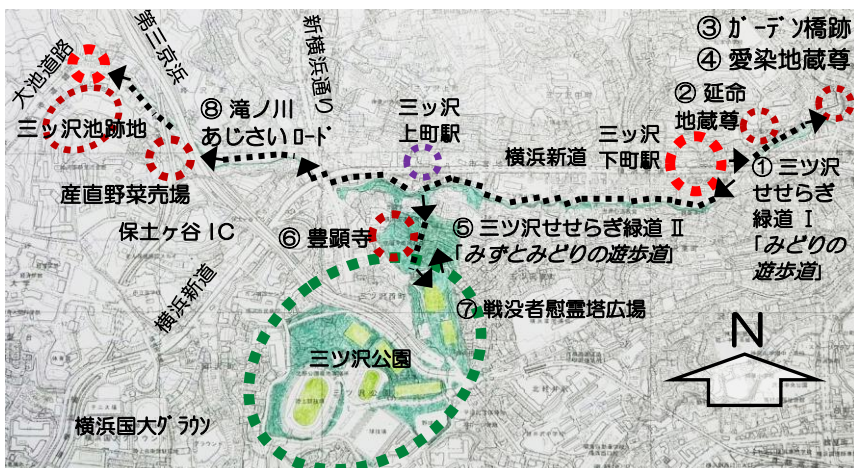


⑧ 滝ノ川あじさいロード

「三ツ沢せせらぎ緑道」の上流にあたるこの道は、地元の花愛好家により2000年に完成。途中に手押しポンプもある歩道は、ハマレンガ(下水汚泥を焼き固めたもの)で舗装。



歩いたルート(バス停「三ツ沢池」まで約4.2km)▼



まち歩きに参加して・・・

仲間と一緒に、紫陽花観賞と豆知識を仕入れて楽しかった。そして、この「滝ノ川あじさいロード」が「花咲かせ隊」の皆さんの保全活動で、毎年素敵な紫陽花を咲かせていると聞いて感激しました。また、三ツ沢せせらぎ緑道では不思議な物を発見。ガーデン橋跡に擬宝珠！それかなり古い。寛永4年です。なぜここに在るのか知っている方は教えて下さい。

ほどがや学び隊 秋場 記